

# 会長さんを訪ねて



## 「メリットを実感できる 組織づくりを目指して」

みやぎ北上商工会

会長 日下 公氏

○会長さんのご趣味について  
お聞かせください。

太平洋戦争（大東亜戦争）を経験した私位の年代ですと伝書鳩に親しんだ方も多いと思うのですが、私は子供の頃から鳩を飼育しております。長年、レース鳩と品評会用の鳩を育成して参りました。また、将棋も好きで、日本将棋連盟から二段を頂戴し、仕事の合間に時間さえできれば、今でも鳩と将棋に勤しんでおります。

現在、「北宮城地区競翔連盟長（日本鳩レース協会）」、将棋は「中田将棋愛好会会長」を務めておりますが、多々ある公職の中で、趣味が高じてやらせていただいている数少ない職ですのでありがたいものです。（笑）  
○会長さんのご商売について  
お聞かせ下さい。



中田地域の誘客の拠点：石ノ森章太郎ふるさと記念館

現在、登米市の旧中田町を中心に石油とプロパンガスの販売、損害保険の代理業を営む（有）日下公三郎商店の代表取締役を務めております。  
○最近の経営環境はいかがですか。

昨今の原油価格高騰とセルフスタンド進出等による競争激化で非常に厳しい状況が続いております。きめの細かいサービスで差別化を図っているところですが、プロパン販売の方がまだまだ見込みがありますので、今の石油販売七割、プロパン二割、損保一割

# 元気な経営

## がんばる女将さん

「人間の和」「笑顔の輪」を忘れず

(有)大永商店

大沼 光子さん

村田町商工会



の比率を検討しようかと考えているところです。  
○地域商業の状況はいかがでしょう。また、商工会としての今後の方針や対策についてお聞かせ下さい。

登米地域も大型店の進出や後継者不足等で非常に厳しい状況です。今、商工会は指導団体としての本来の機能が問われているのだと日々思い知らされているところです。本商工会も昨年合併し、巡回指導等を強化してきたところですが、如何せん地域に根づき、会員からの支持を得た

とは言い切れないと思っております。二年目を迎える本年度を正念場として捉え、役員が一丸になって変革に取り組み、商工人の日々の経営に幾ばくかの力になれる組織づくりを目指して行きたいと考えております。



店舗の様子

戦後六十年、振り返れば仙台空襲。昭和二十年七月二十日B29の爆音火に包まれた仙台、あれこそ真に生き地獄でした。焼土と化した焼け野原に佇み涙を流した少女時代でした。

仙台にて薪炭商を営む両親の一心に働く後姿を見て育った私、縁あって村田の同業に嫁ぎました。地元産の大豆で委託加工として納豆製造に没頭していた主人、独学で研究を重ね製造に取り組んでいました。幾度となく失敗に失敗を重ね研究に夢中でした。食

糧難の時代、糸の弱い納豆でも皆さん大豆を持って来て交換してくれました。五十年の歳月自分に満足できる製品が出来上がった時の喜び、お互い健康であった事に感謝しています。平成十五年度「永太郎納豆」が鑑評会に受賞又平成十八年度「グリーンパールさっぽろ」が東北からも唯一の入賞でした。これも多くのお客様に支えられ叱咤激励されたおかげでございます。感謝の気持ちをお忘れず、さらに感動して頂ける納豆を目指しまして頑張りたいと思いま

す。現在は、副社長が健康で幸せになって頂ける納豆を目指して作り続けて参る覚悟があります。よろしくご指導願います。

「人間の和」「笑顔の輪」を忘れず活力ある豊かな地域づくり、常に新しい発想を加えて今後の発展につながるものと信じ努力したいと思っております。新しい時代に向かって日進月歩で動き続けて和と輪を重んじ清く明るく理想の街づくりでありたいと思っております。健康で若い人達の手助けとなれるよう頑張りたいと思っております。